

# 精神保健福祉センター所報

令和6年度

新潟県精神保健福祉センター



## 巻 頭 あ い さ つ

令和6年度の新潟県精神保健福祉センター所報をお届けします。

当センターのこの1年の活動にご協力いただいた関係各位に深く感謝いたしますとともに、今後とも引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、精神保健福祉分野は、COVID-19 パンデミックに代表される近年の社会情勢の変化や複雑・多様化する県民ニーズと相まって、対象とする範囲や支援内容が大きく変化しています。精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す「にも包括」事業の取り組み、災害派遣精神医療チーム（DPAT）にかかる研修など当センターの守備範囲はここ数年拡大し続けており、業務の重要性も一層増してきています。

令和6年度事業では、前年度に引き続き、自殺対策、依存症対策、ひきこもり対策、高次脳機能障害相談支援の4つの重点事項に加え、障害者総合支援法関連事業いわゆる「にも包括」のピアサポート研修等各種研修会の開催、専門アドバイザー派遣等に注力しました。また、精神保健福祉法の改正に伴う審査会体制の強化にも着手したところです。

それぞれの事業において、支援従事者等への研修等の人材育成、つどい・交流会等の家族支援・本人支援、関係機関等に対する技術的支援など、市町村、保健所をはじめ地域の関係機関・団体と連携し、御協力を得て、事業を推進しました。コロナ禍以降は各種研修会等のリモート開催も日常のこととなり、実施方法、機材の扱い等にも一層習熟し広い県土をカバーする新時代の研修体制を作り上げていく所存です。

最後になりますが、引き続き精神保健福祉相談や普及啓発のための情報発信を充実し、専門職等関係職員の資質の向上に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年1月

新潟県精神保健福祉センター

所 長 阿部 俊幸

# 目 次

## I センターの概要

1 職種別職員構成	1
2 予 算	1
3 施設 の 概 要	2

## II 事業実績

1 技術指導及び技術援助	4
2 教育研修	7
3 普及啓発	11
4 調査研究	12
5 精神保健福祉相談	13
6 組織育成・支援	15
7 精神医療審査会事務	16
8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務	19
9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供	20
10 自殺対策	22
11 思春期精神保健相談事業	24
12 ひきこもり地域支援センター事業	25
13 災害後の精神保健福祉対策	27
14 障害者総合支援法関連事業	28
(1)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業	28
(2)高次脳機能障害相談支援センター事業	32
15 依存症対策	35
16 協議会等	37

# I センターの概要

## 1 職種別職員構成

形態 \ 職種	医師	精神保健福祉 相談員	高次脳機能 障害相談支援 コーディネー ター	一般事務	計
常勤	1(1)	6		1	8(1)
非常勤	9	1	1	3	14
計	10(1)	7	1	4	22(1)

※ ( )は県立精神医療センターとの兼務である。

## 2 予 算

### (1) 歳 入 (円)

科 目	調定額	収入額
(款) 使用料及び手数料	1,781,836	1,781,836
(項) 使 用 料	1,781,836	1,781,836
(目) 行政財産使用料	1,781,836	1,781,836
(節) 土地使用料	74,800	74,800
(節) 建物使用料	1,707,036	1,707,036
(款) 諸 収 入	2,205,654	2,205,654
(項) 雑 入	2,205,654	2,205,654
(目) 雑 入	2,205,654	2,205,654
(節) 雑 入	2,205,654	2,205,654

### (2) 歳 出 (円)

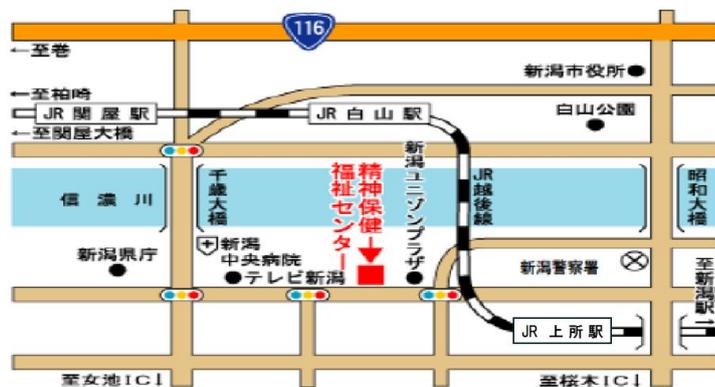
科 目	予算額	支出済額
(款) 福 祉 保 健 費	31,519,358	29,245,414
(項) 障害福祉費	31,519,358	29,245,414
(目) 精神保健福祉センター費	11,803,000	10,985,357
(節) 報 酬	2,111,000	1,983,810
(節) 期末手当	455,000	454,826
(節) 共済費	323,000	323,000
(節) 報償費	67,000	22,800
(節) 旅 費	296,000	191,872
(節) 需用費	5,160,000	4,823,741
(節) 役務費	402,000	238,259
(節) 委託料	2,851,000	2,822,049
(節) 使用料及び賃借料	13,000	0
(節) 備品購入費	0	0
(節) 負担金・補助及び交付金	125,000	125,000
(節) 公課費	0	0

(\*職員給与を除く。)

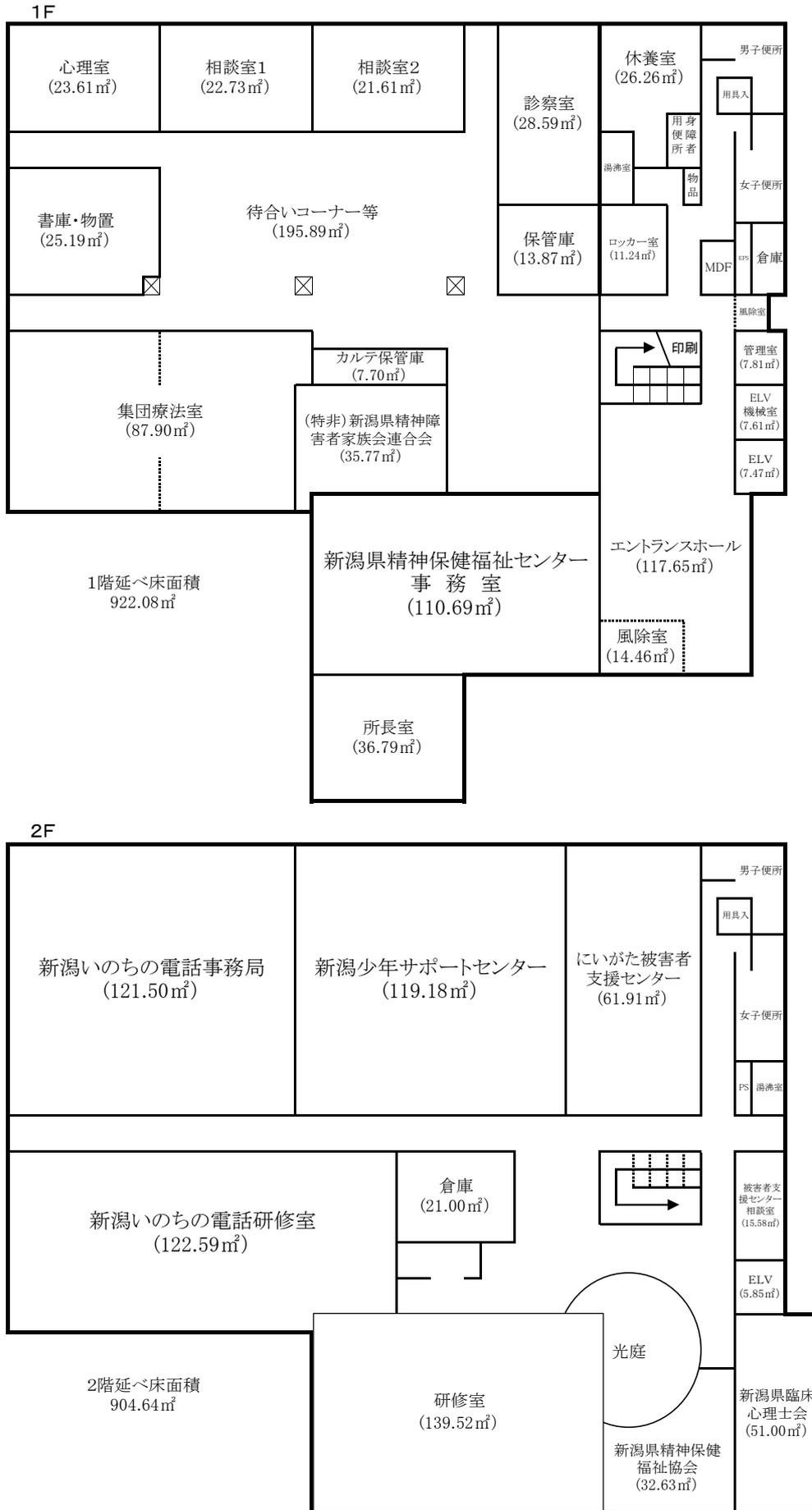
### 3 施設 の 概 要

(1) 名 称	新潟県精神保健福祉センター
(2) 所 在 地	〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザハート館 代表電話 025 (280) 0111 F A X 025 (280) 0112 相談電話 025 (280) 0113
(3) 沿 革	<p>昭和43年4月1日 新潟市川岸町1丁目57番地1に厚生相談センター（中央児童相談所、婦人相談所を加えた合同庁舎）の3階と2階の一部に「新潟県精神衛生センター」として設置。庶務課と相談指導課の2課制。専任職員12名</p> <p>昭和46年4月1日 専任職員が1名削減され、11名</p> <p>昭和58年4月1日 規制改正により課制廃止となり業務分担制となる。庶務課分掌事務は衛生部医務課庶務係の所管となる。専任職員11名が7名に削減</p> <p>昭和63年3月29日 精神衛生法の改正により、「精神保健センター」に改称</p> <p>平成7年4月1日 平成7年3月に中央児童相談所等の移転に伴い、庁舎名を精神保健センターへ名称変更。単独庁舎となる。所管は環境保健部公衆衛生課</p> <p>平成7年7月10日 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により、「新潟県精神保健福祉センター」に改称</p> <p>平成10年 庁舎の大規模改修（耐震補強）工事が行われる。</p> <p>平成13年4月1日 専任職員（事務）1名が増員され8名体制となり、庶務的分掌事務が福祉保健部健康対策課から移管 精神医療審査会の事務、精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院）に関する判定の事務も移管</p> <p>平成14年4月1日 専任職員（精神保健福祉相談員）1名が増員され9名体制となる。</p> <p>平成16年3月8日 新潟市上所2丁目2-3新潟ユニゾンプラザハート館へ移転 相談専用電話の開設</p> <p>平成22年4月1日 高次脳機能障害相談支援センター開設。相談専用電話が設置され、翌年1月には専任コーディネーターが配置される。</p> <p>平成25年4月17日 障害福祉課内に開設された「新潟県ひきこもり地域支援センター」を支援するため当所に専用相談電話を開設。研修・啓発・技術支援を当所が担当</p> <p>平成29年4月1日 専任職員（事務）1名が減員され8名体制となる。</p> <p>平成31年4月1日 「新潟県ひきこもり地域支援センター」を当所内に設置 「新潟県アルコール健康障害対策推進計画」において相談拠点となる。</p> <p>令和3年3月31日 新潟県依存症相談拠点機関運営事業」において相談拠点となる。</p> <p>令和3年4月1日 新型コロナウイルス感染症に関するこころの相談に対応する専用電話相談「新型コロナ こころの相談」を開設（令和5年3月末まで）</p>

#### (4) 案 内 図



(5) 施設配置図



## Ⅱ 事業実績

### 1 技術指導及び技術援助

地域振興局健康福祉(環境)部をはじめとして、関係機関からの要請に応じ職員を派遣し、技術支援等を行った。

○保健所・主管課

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
新潟地域振興局 健康福祉部	○新潟障害保健福祉圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会	技術支援	21人
	○ピアサポート事業に関する支援(5回)	技術支援	延べ39人
	○南浜病院と地域機関の連絡会	技術支援	20人
	○新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会打合せ	技術支援	2人
	○新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(新津保健所・新潟市こころの健康センター主催)	情報提供	53人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○県央地域自殺対策連携会議	情報提供	16人
	○県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会(2回)	情報提供	延べ64人
	○県央地域市町村精神保健福祉担当者情報交換会	技術支援	14人
	○県央圏域高次脳機能障害支援従事者研修会打ち合わせ	技術支援	3人
	○県央圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供 助言	32人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○県央圏域高次脳機能障害者家族のつどい	技術支援	6人
	○中越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(長岡・柏崎保健所主催)	情報提供 助言	50人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)(3回)	技術支援	延べ86人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○中越圏域高次脳機能障害者家族のつどい(長岡・柏崎保健所主催)	技術支援	4人
	○高校生のメンタルヘルス支援会議	情報提供	22人
魚沼地域振興局 健康福祉部	○中越圏域自立支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会(長岡・柏崎保健所主催)	情報提供	45人
	○自殺未遂者等自殺ハイリスク者支援研修会	助言	13人
南魚沼 地域振興局 健康福祉部	○南魚沼地域依存症回復支援事業「ふらっと」(3回)(南魚沼市、南魚沼保健所主催)	技術支援	延べ31人
	○魚沼圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(魚沼・十日町保健所主催)	助言	61人
	○魚沼圏域高次脳機能障害者家族のつどい(南魚沼・魚沼・十日町保健所主催)	技術支援	5人
上越地域振興局 健康福祉環境部	○上越圏域障害者地域支援連絡調整会議・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会(2回)(上越・糸魚川保健所主催)	情報提供	延べ35人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)(1回)	技術支援	延べ28人
	○上越圏域高次脳機能障害者家族のつどい(上越・糸魚川保健所主催)	技術支援	4人
	○上越圏域高次脳機能障害者等支援従事者研修会(上越・糸魚川保健所主催)	助言	34人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○佐渡圏域高次脳機能障害者家族のつどい打ち合わせ	技術支援	2人
	○佐渡圏域高次脳機能障害者家族のつどい	技術支援	3人
県 障 害 福 祉 課	○いのちとこころの支援センター業務連絡会（2回）	情報提供	延べ33人
	○自殺対策担当者会議	情報提供	54人
	○新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	情報提供	20人
	○新潟県障害者ピアサポート研修に係る打合せ（6回、振り返り1回）	技術支援	延べ67人
	○新潟県障害者ピアサポート基礎研修（1日間）	技術支援	39人
	○新潟県障害者ピアサポート専門研修（1日間）	技術支援	41人
	○新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	技術支援	14人
	○ひきこもり支援ネットワーク連絡協議会打合せ	技術支援	2人
	○ひきこもり支援ネットワーク連絡協議会	技術支援	87人
	○新潟県・新潟市依存症対策連携会議打合せ（3回）	技術支援	9人
	○新潟県・新潟市依存症対策連携会議	技術支援	39人
	○新潟県DPAT研修会打合せ（3回）	技術支援	28人
	○新潟県DPAT研修会	技術支援	65人
○子どものメンタルケア事例検討会打合せ（2回）	技術支援	17人	
○子どものメンタルケア事例検討会	技術支援	158人	

○関係機関（市町村）

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
新 発 田 市	○精神障がい者を支える人たちのフリートーク会	情報提供	12人
	○若者支援のための関係機関・団体情報交換会（新発田市社会福祉協議会・新発田市主催）	情報提供	24人
燕 市	○燕市自立支援協議会 つばめで暮らそう部会関連（5回）	情報提供 技術支援	延べ91人
柏 崎 市	○柏崎市ひきこもり支援事例研究会	技術支援	21人
田 上 町	○田上町「にも包括」研修会	講 師	35人
津 南 町	○津南町ゲートキーパー研修会	講 師	35人

○関係機関（その他）

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
さいがた医療センター	○ゲーム依存おふらいいんキャンプ実行委員会（4回）	技術支援	延べ56人
関 病 院	○つながるフォーラム打合せ（2回）	技術支援	25人
	○つながるフォーラム	技術支援	100人
新 潟 大 学 歯 学 部	○講義	講 師	25人
新 潟 県 立 大 学	○こころの健康づくりに関する講義	講 師	86人
新 潟 県 社 会 福 祉 協 議 会	○”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	技術支援	14人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
長岡市地域包括支援センター みやうち・やまこし	○高次脳機能障害支援に関する講義、ディスカッション、 グループワーク	講 師 助 言	51 人
自死遺族語り合いの会「虹の会」	○例会の運営支援（6回）	技術支援	延べ35人
はばたきネット	○依存症関係機関・団体の情報交換のための定例会（3回）	情報提供	延べ62人

## 2 教育研修

精神保健福祉業務従事者及び関係機関の職員に対して研修を行った。

### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）

市町村、精神科医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、地域活動支援センター、地域振興局健康福祉(環境)部等において、精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、精神保健医療福祉に関する基礎知識及び技術を習得して円滑に業務を遂行し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築を推進する人材の育成を図るため、研修会を開催した。

月日(会場)	内 容	参加者数
<講義> 令和7年 2月3日～14日 (動画)	令和6年度厚生労働科学研究作成「精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材」科目1、2、5	59人
<演習> 令和7年 2月26日 (自治会館別館 ゆきつばき)	○演習「障害特性の理解と精神保健福祉相談の実際」 講師：新潟医療福祉大学心理・福祉学部 社会福祉学科 講師 渡邊 恵司 ○「当事者及び家族主体の相談支援」 講師：一般社団法人上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 当事者、家族	

※本研修会は、精神障害者支援体制加算の対象研修として実施した。

### (2) 自治体職員のための精神保健や相談支援に関する基礎研修会

自治体における精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談支援の質の向上を図るため、精神保健福祉業務に従事する事務職員等を対象に精神保健や相談技術に関する基礎的な事項を学ぶための研修会を開催した。

月日(会場)	内 容	参加者数
<講義> 令和7年 2月3日～14日 (動画)	令和6年度厚生労働科学研究作成「精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材」科目1から4	5人
<演習> 令和7年 2月26日 (自治会館別館 ゆきつばき)	○「当事者及び家族主体の相談支援」 講師：一般社団法人上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 当事者、家族	

### (3) 精神保健福祉相談員講習会

自治体における精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談支援の質の向上を図るため、相談支援を行う保健師をはじめとした職員を対象に精神保健福祉相談員を養成するための講習会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
<講義> 令和7年 2月3日～21日 (動画)	令和6年度厚生労働科学研究作成「精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材」科目1から7	24人
<演習1> 令和7年 2月26日 (自治会館別館 ゆきつばき)	○「当事者及び家族主体の相談支援」 講師:一般社団法人上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 当事者、家族	
<演習2> 令和7年 3月7日 (燕三条地場産 業振興センター)	○「精神保健福祉の相談支援事例」 講師:埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業広域アドバイザー 広沢 昇 事例提供者:燕市社会福祉課 主任 西川 典芳 新発田地域振興局健康福祉環境部地域保健課 課長代理 細野 純子 ○「受講の振り返り」 助言者:埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業広域アドバイザー 広沢 昇 燕市社会福祉課 主任 西川 典芳 新発田地域振興局健康福祉環境部地域保健課 課長代理 細野 純子	23人 (講習会 修了者 22人)

※演習1は、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会(基礎編)」及び「自治体職員のための精神保健や相談支援に関する基礎研修会」と合同開催とした。

### (4) 措置入院者等の退院後支援に関する研修会

地域振興局健康福祉(環境)部の精神保健福祉相談員等に対し、措置入院者等の退院後支援マニュアル及び退院後支援に関する理解を深め、措置入院者の支援が適切にできるようになることを目的に研修会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
令和6年 11月27日 (オンライン)	○説明「措置入院者等の退院後支援マニュアルについて」 説明者:精神保健福祉センター 専門相談員 島田 知子 ○事例報告「措置入院患者に対する支援について」 事例報告者:柏崎厚生病院 精神保健福祉士 中田 みのり 上越地域振興局健康福祉環境部地域保健課 主任 横関 貴宏 ○意見交換「措置入院患者に対する支援について」	22人

## (5) 精神保健福祉相談員等新任者向け研修会

精神保健福祉相談員として、通報対応の法施行業務を適切に行うことができるようになること及び精神保健福祉にかかる相談支援が適切にできるよう、基礎知識・技術を習得し、基本姿勢を学ぶため研修会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
<第1回> 令和6年 5月17日～ 6月17日 (オンデマンド 配信)	○講義「精神保健福祉分野で必要な相談支援スキル」 講師：NPO 法人上越メンタルネット 地域活動支援センター あぼあん 管理者 青木 美代子 ○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮 ○講義「思春期青年期の様々なこころの問題とその対応」 講師：医療法人恵生会 南浜病院 副院長 川嶋 義章	21人
<第2回> 令和6年 6月3日 (精神保健福祉 センター)	<第1部> ○情報提供「精神保健福祉の動向と改正精神保健福祉法について」 情報提供者：障害福祉課のちとこころの支援室 政策企画員 加藤 花恵 ○事業説明「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について」 説明者：精神保健福祉センター 専門相談員 島田 知子 <第2部> ○ミニ講義「地域診断とは」 講師：柏崎地域振興局健康福祉部 地域保健課 課長 山田 秀子	12人
<第3回> 令和6年 6月18日 (オンライン)	○講義「措置入院について」 ○講義「法第27条に基づく調査のポイント」 講師：精神保健福祉センター 専門相談員 島田 知子 ○講義「受入先病院と診察医の探し方」 講師：精神保健福祉センター 専門相談員 清野 美佐緒 ○演習「法第23条通報事例を用いた調査体験」 ○実習「調査書の作成」 ○講評・意見交換・質疑応答など 講師：精神保健福祉センター 専門相談員 島田 知子 清野 美佐緒	19人

※第2回は、「令和6年度第1回精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業担当者連絡会議」と兼ねて実施した。

## (6) 精神保健福祉業務担当者研修会

地域振興局健康福祉（環境）部の精神保健福祉相談員等が、相談支援や事業の企画運営について理解を深め、横のつながりを作ることを目的として研修会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
令和7年 2月18日 (精神保健福祉 センター)	○講義「精神保健福祉相談員の役割」 (令和6年度厚生労働科学研究作成の精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材 (動画)) ○情報交換「精神保健福祉相談について」 ○情報交換「事業等について」	9人

## (7) 精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー

当県の精神医療・保健・福祉に関する多職種の関係者が一堂に会した質の高い研修の機会を提供するため、新潟県精神医療機関協議会、新潟県精神保健福祉家族会連合会、新潟県精神保健福祉士協会及び新潟県精神障害者社会福祉施設協議会とともに毎年テーマを決めて開催している。

月日 (会場)	内 容	参加者数
令和7年 2月21日 (オンライン)	<p>テーマ「災害発生！そのとき支援者に求められるもの ～今改めて、災害支援を考える～」</p> <p>○基調講演「災害時のこころのケア 支援者が担う役割と求められるもの」 講師：兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹 大澤 智子</p> <p>○シンポジウム ～災害時に支援者が担う役割と求められるもの～          &lt;精神医療の立場から&gt; ～新潟県 DPAT の支援活動          さいがた医療センター 副看護師長 佐藤 暁          &lt;保健師の立場から&gt; ～災害派遣時における保健師の支援活動          新発田地域振興局児童・障害者相談センター 榎田 健          &lt;相談支援の立場から&gt;          ～東日本大震災におけるこころのケアの取組          みやぎ心のケアセンター 副センター長 渡部 裕一          ～新潟県におけるこころのケアセンターの支援活動          新潟県精神保健福祉協会 本間 寛子</p> <p>◇座 長 佐潟公園病院 院長 北村 秀明          ◇助言者 基調講演講師 大澤 智子</p>	207人 (申込数)

## (8) 学生実習

学生の職業意識向上のための機会提供と行政に対する理解を深めることを目的として、実習受け入れを行い、講義、会議・研修会等各種事業への参加等のプログラムを提供した。

ア 実習受入期間 16日間 (令和7年2月12日～3月6日)

受入学校・人数 新潟青陵大学・1名

### 3 普及啓発

県民の精神的健康の保持増進をはかり、関係機関に対して精神保健医療福祉に関する情報等を提供するため、以下の広報普及活動を行った。

#### (1) 機関誌等の発行

##### ア「精神保健福祉だより にいがた」の発行

精神保健福祉に関する取組やトピックについて広報するため、「精神保健福祉だより にいがた 第138号」を発行し、ホームページに掲載するとともに関係機関に配布した。

##### 【目次】

- 巻頭言 あらためて自殺率を考える（その5）
- 特集 1. 自殺予防について(トラウマインフォームドケアについて)  
2. ひきこもり支援について
- 報告 「新潟県精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー」

##### イ「精神保健福祉情報マップ」の発行

県内の精神保健福祉関連の社会資源について、関係機関が共有し業務に活用できるよう、「精神保健福祉情報マップ—令和6年度版—」（発行部数600部）を発行し、関係機関に配布した。

##### ウ「DVD目録」の発行

精神保健福祉センターが所有しているDVD等の目録を年1回作成・配布し、関係機関職員の研修や県民への普及啓発に活用できるようにした。

#### (2) 普及啓発資材の貸し出し

精神保健福祉について正しい知識の普及を図るため、DVDや普及啓発パネルの貸し出しを行った。

貸出先 貸出物品	病院	関係機関	市町村	保健所	計
DVD	0	4	0	0	4
普及啓発パネル	0	0	0	7	7

#### (3) その他

- ・精神保健福祉相談に関するリーフレット（改訂版）を作成し、講演会や研修会等にて配布するとともに、ホームページにて情報を発信した。
- ・関係機関が実施する普及啓発の取組に、情報提供や運営の従事等にて協力した。

## 4 調査研究

精神保健福祉活動推進のため、調査研究を行い、情報発信した。

### 学会・研究会発表

月日 会の名称 (会場)	主担当者	内容
10月28日～29日 第60回全国精神保健福祉 センター研究協議会 (会議・研修施設ACU ／札幌市) ※オンライン併用	所長 阿部 俊幸	都道府県別自殺率についての地域相関 研究

## 5 精神保健福祉相談

来所者及び地域振興局健康福祉(環境)部等の複雑困難な事例について、精神保健福祉相談及び精神医学的診断・指導助言を行い、必要な支援・援助活動を行った。

### (1) 年次別利用者数

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	実人数		延人数		実人数		延人数		実人数		延人数	
来所	114	男	85		228	107	男		80	238	83	男
		女	29	女			27	女	18			
電話	890	男	442	3,502	689	男	376	3,652	705	男	371	3,875
		女	409			女	285			女	311	
		不明	39			不明	28			不明	23	
計	1,004	男	527	3,730	796	男	456	3,890	788	男	436	4,049
		女	438			女	312			女	329	
		不明	39			不明	28			不明	23	

### (2) 男女別・年齢別実件数

		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	計
来所	男	0	5	12	6	16	12	10	3	1	65
	女	0	2	4	3	3	3	3	0	0	18
	計	0	7	16	9	19	15	13	3	1	83
電話	男	1	17	36	42	45	36	25	23	146	371
	女	0	25	19	19	28	32	21	21	146	311
	不明	0	3	0	0	0	1	0	0	19	23
	計	1	45	55	61	73	69	46	44	311	705
計	男	1	22	48	48	61	48	35	26	147	436
	女	0	27	23	22	31	35	24	21	146	329
	不明	0	3	0	0	0	1	0	0	19	23
	計	1	52	71	70	92	84	59	47	312	788

### (3) 保健所管内別実件数

	新潟市	下越				中越						上越		県外	不明	計
		村上	新発田	新津	佐渡	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	上越	糸魚川			
来所	42	3	12	4	3	10	5	0	0	0	2	1	0	1	0	83
		22				17						1				
電話	166	20	63	23	14	93	85	4	12	10	21	43	11	15	125	705
		120				225						54				
計	208	23	75	27	17	103	90	4	12	10	23	44	11	16	125	788
		142				242						55				

## (4) 来所経路

	保健所	市町村	医療機関	福祉事務所	児童相談所	女性福祉相談所	施設	教育機関	警察機関	司法関係	その他の公的機関
来所	3	1	7	1	0	0	3	0	0	0	0
電話	7	20	22	0	0	0	2	2	1	4	14
計	10	21	29	1	0	0	5	2	1	4	14
	マスコミ	本・パンフレット	インターネット	いのちの電話	個人的紹介	精神障害者手帳	継続	直接来所 タウンページ	その他	不明	計
来所	2	0	16	0	0	0	47	0	2	1	83
電話	5	12	182	3	11	0	96	0	22	302	705
計	7	12	198	3	11	0	143	0	24	303	788

## (5) 主訴別実件数

主 訴	来所	電話	計	主 訴	来所	電話	計
発 達 の 問 題	0	0	0	家 庭 内 の 問 題	0	43	43
性 格 ・ 行 動 の 問 題	25	272	297	診 断 ・ 治 療 の 問 題	2	135	137
結 婚 ・ 遺 伝 の 問 題	0	3	3	リ ハ ビ リ テー シ ョ ン	20	84	104
教 育 の 問 題	0	13	13	そ の 他	33	109	142
職 業 の 問 題	3	46	49	計	83	705	788

## (6) 診断名別実件数

診断名 (疑い含む)	来所	電話	計	診断名 (疑い含む)	来所	電話	計
統合失調症・妄想性障害	0	35	35	摂 食 障 害	0	8	8
そ う う つ 病	0	11	11	パ ー ソ ナ リ ティ 障 害	1	6	7
う つ 病	1	48	49	知 的 障 害	1	6	7
そ の 他 の 気 分 障 害	0	3	3	自 閉 症 ・ ア ス ペ ル ガ ー 障 害	3	14	17
て ん か ん	0	5	5	そ の 他 の 発 達 障 害	3	7	10
老 年 期 精 神 障 害	0	3	3	不 登 校 ・ ひ き こ も り	0	0	0
高 次 脳 機 能 障 害	51	63	114	そ の 他	1	2	3
ア ル コ ー ル 関 連 障 害	0	12	12	不 明	8	395	403
薬 物 乱 用	1	3	4	障 害 な し	12	45	57
そ の 他 の 中 毒 性 精 神 障 害	1	15	16	計	83	703	786
神 経 症 性 障 害	0	22	22				

## (7) 処遇内容 (延件数)

紹介	助言	ケースワーク	医学的指導	訪問	その他	計
128	3,480	178	9	7	247	4,049

## 6 組織育成・支援

地域精神保健福祉活動の一環として、精神障害者家族会をはじめ各種団体に対して専門的立場から指導援助を行った。

要請機関・団体	内 容	参 加 者 数 (人)			備 考
		総 数	家族等	関係者	
新潟県精神医療 機関協議会	○理事会 2回	12		12	
	○定期総会	22		22	
	○精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー (令和7年2月21日)(オンライン)	207		207	
	○セミナー打合せ(1回)	3		3	
	○会報の発行(2回)				
新潟県精神保健 福祉協会	○理事会(オンライン)	11		11	
	○総会・記念講演会 (令和6年7月29日 会場参集とオンライン配信の 併用)	343		343	
	○福島県外避難者の心のケア事業打合せ(8回)	39		39	
	○全国精神保健福祉連絡協議会総会(書面)				
新潟県精神保健 福祉相談員会	○業務研修会(令和7年3月8日)	9		9	
はばたきネット	○定例会(依存症関係機関・団体による情報交換) 3回(オンライン)	62		62	
新潟青陵大学	○学生実習(令和7年2月12日～3月6日)	1		1	
計		964		964	

## 7 精神医療審査会事務

精神科病院に入院中の者の人権擁護と適正な医療の確保のために、医療保護入院届や定期病状報告書の審査と入院患者等からの退院・処遇改善の請求に関して、精神医療審査会において入院継続の可否や処遇の適否に関する審査を行った。

### (1) 開催状況

**ア 合議体** 開催回数 33回 (R6.4~6...2回/月、R6.7~...月3回)、出席委員数 延159人  
**イ 総会**

会議名	開催日	会場	主な議題	出席委員数
新潟県精神医療審査会総会	令和6年 12月10日	オンライン	・審査状況/オンライン導入について ・新たに審査対象となった書類の審査について(医療保護入院者の入院期間更新届、措置入院決定報告書)	24人

### (2) 委員

**ア R6.4~6**

(ア) 合議体

4合議体

(イ) 委員数

25人 合議体所属委員：医療委員12人、法律家委員4人、有識者委員4人  
 予備委員：医療委員2人、有識者委員3人

**イ R6.7~**

(ア) 合議体

6合議体

(イ) 委員数

37人 合議体所属委員：医療委員18人、法律家委員6人、有識者委員6人  
 予備委員：医療委員1人、法律家委員1人、有識者委員5人

### (3) 審査状況

**ア-1 退院等の請求審査**

区分	請求 受理 件数	意見 聴取 件数	審査 件数	審査結果				取り下 げ件数	退院等 審査 要件の 消失	審査中
				現在の入 院形態に よる入院 又は処遇 が適当	他の入院 形態への 移行が適 当	病状等に ついて報 告を求め ることが 適当	入院又は 処遇は不 適当			
退院請求	40	25 (1)	24 (1)	24 (1)	0	0	0	16	1	0
処遇改善請求	12	4 (1)	4 (1)	4 (1)	0	0	0	9	0	0
合計	52	29 (2)	28 (2)	28 (2)	0	0	0	25	1	0

\* ( ) 内は昨年度受理分

## ア-2 請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間（当年度受理分）

区分	日数別件数					合計	平均処理日数 (日)
	30日以内	31日以上～ 40日以内	41日以上～ 60日以内	61日以上～ 90日以内	91日以上		
退院請求	1	10	9	3	0	23	44.0
処遇改善請求	0	3	0	0	0	3	37.0

## イ-1 定期の報告等の審査 (R6.4 改正法前の届等)

区分	諮問 件数	(内、 審査 継続 件数)	審査結果				実地 審査 件数	意見 聴取 件数	審 査 中
			現在の入院 形態による 入院又は処 遇が適当	他の入院形 態への移行 が適当	病状等につ いて報告を 求めること が適当	入院又は処 遇は不適当			
医療保護入院届	625	(21)	625	0	0	0	0	0	0
定期病 状報告	措置入院	2	2	0	0	0	0	0	0
	医療保護入院	328	328	0	0	0	0	0	0
合 計	955	(34)	955	0	0	0	0	0	0

## イ-2 定期の報告等の審査 (R6.4 改正法施行後の届等)

区分	諮問 件数	(内、 審査 継続 件数)	審査結果				実地 審査 件数	意見 聴取 件数	審 査 中
			現在の入院 形態による 入院又は処 遇が適当	他の入院形 態への移行 が適当	病状等につ いて報告を 求めること が適当	入院又は処 遇は不適当			
医療保護入院届	2,062	(73)	2,044	0	0	0	0	0	18
医療保護入院者 入院期間更新届	1,180	(74)	1,136	0	0	2	0	0	42
措置入院者 定期病状報告書	4	(0)	4	0	0	0	0	0	0
措置入院決定報告書	50	(13)	49	0	0	0	0	0	1
合 計	3,296	(160)	3,233	0	0	2	0	0	61

## (4) 審査実績年次推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
審査会開催回数	24	24	24	24	33
入院届審査件数	2,457	2,564	2,558	2,543	2,687
定期病状報告書審査件数	1,310	1,270	1,241	1,176	334
入院期間更新届審査件数					1,180
措置入院決定報告書件数					50
退院等請求審査件数	50	48	14	24	28

\*令和5年度は、当年度内に書類審査を諮問した件数及び退院等請求を受理し審査した件数

(5) 退院等請求相談電話の状況

件数	内 訳		
	入院者本人	家族等	その他
277	268	7	2

(6) 精神医療審査会関係会議等

会議名	主催	開催日	主な内容	出席者数
全国精神医療審査会 会長会議	厚生労働省社会・ 援護局障害保健福 祉部精神・障害保 健課	令和7年 2月21日 (アルカディア 市ヶ谷)	・精神医療保健福祉の動向	1人
全国精神医療審査会 連絡協議会 総会・シンポジウム	全国精神医療審査会 連絡協議会	令和7年 2月21日 (アルカディア 市ヶ谷)	・総会 ・基調報告 「公式統計にみる精神医療審査会 活動の動向など」 ・シンポジウム 「精神医療審査会の機能強化に向 けて～令和4年度精神保健福祉 法改正を踏まえて」	1人

## 8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務

自立支援医療費（精神通院）支給認定の適否及び精神障害者保健福祉手帳交付の可否や等級判定を行った。

### (1) 自立支援医療判定件数 ※手帳同時申請による判定を含む

判定件数	14,802
承認件数	14,714
不承認件数	16

(承認/不承認件数は、令和7年3月末時点で判定結果が出たもの)

### (2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数	4,915
承認件数	4,740
1級	212
2級	4,223
3級	305
不承認件数	44

(承認/不承認件数は、令和7年3月末時点で判定結果が出たもの)

## 9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供

精神科救急医療システムの稼働状況の取りまとめ、当番体制の調整・管理を行った。

### 精神科救急医療システム稼働状況

(休日昼間)

令和6年度ブロック別比較

ブロック		県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計	
状況	稼働状況	22.0%	54.7%	73.8%	57.3%	65.4%	54.9%	
	稼働日数	26	94	90	55	81	346	
	当番日数	118	172	122	96	122	630	
対応件数	対応件数	31	251	427	88	178	975	
	電話のみ	17	173	364	74	149	777	
	電話→来院	11	66	51	11	26	165	
	直接来院	3	12	12	3	3	33	
処理内容	処理内容	31	251	427	88	178	975	
	相談助言	17	171	364	74	149	774	
	外来診療	7	60	32	6	15	121	
	入院	入院	7	20	31	8	14	80
		任意入院	2	8	1	2	10	23
		医療保護	5	11	24	4	3	47
		その他	0	1	6	2	1	10

年度別推移

年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
状況	稼働状況	62.3%	59.2%	58.0%	49.9%	54.9%	
	稼働日数	392	369	365	317	346	
	当番日数	629	623	629	635	630	
対応件数	対応件数	1,215	1,090	1,150	998	975	
	電話のみ	952	833	918	775	777	
	電話→来院	212	214	195	193	165	
	直接来院	51	43	37	30	33	
処理内容	処理内容	1,215	1,090	1,150	998	975	
	相談助言	964	839	918	784	774	
	外来診療	159	156	152	131	121	
	入院	入院	92	95	80	83	80
		任意入院	19	18	23	19	23
		医療保護	65	69	50	51	47
		その他	8	8	7	13	10

( 夜 間 )

令和6年度ブロック別比較

ブロック 状況	県北	新潟・ 佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	48.6%	83.1%	82.3%	41.2%	60.0%	74.4%
稼働日数	34	245	190	14	60	543
当番日数	70	295	231	34	100	730
対応件数	46	1,087	1,093	26	122	2,374
電話のみ	25	945	1,030	20	104	2,124
電話→来院	16	138	59	4	13	230
直接来院	5	4	4	2	5	20
処理内容	46	1,087	1,093	26	122	2,374
相談助言	25	945	1,033	20	104	2,127
外来診療	8	86	17	3	7	121
入院	13	56	43	3	11	126
任意入院	4	9	3	0	4	20
医療保護	9	45	34	3	6	97
その他	0	2	6	0	1	9

年度別推移

年度 状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
稼働状況	77.7%	79.4%	74.8%	74.9%	74.4%
稼働日数	546	579	548	579	543
当番日数	730	730	732	730	730
対応件数	2,447	2,328	2,461	2,170	2,374
電話のみ	2,174	2,059	1,878	2,059	2,124
電話→来院	259	246	264	246	230
直接来院	28	23	28	23	20
処理内容	2,447	2,328	2,461	2,170	2,374
相談助言	2,180	2,063	1,883	2,063	2,126
外来診療	149	150	154	150	122
入院	132	115	133	115	126
任意入院	14	24	25	14	20
医療保護	91	98	106	91	97
その他	10	11	15	10	9

## 10 自殺対策

### (1) 人材育成

#### ア いのちとこころの支援センター専門相談員に対する技術援助

県が設置する自殺対策専門の相談支援機関「いのちとこころの支援センター」(3か所)に従事する専門相談員の育成、支援として、研修会の開催及び業務連絡会での助言等を行った。

月日	会場	内容	参加者数
令和6年 6月17日 12月18日	①オンライン ②精神保健福祉センター	いのちとこころの支援センター専門相談員等業務連絡会	延べ33人
令和6年 12月18日	精神保健福祉センター	いのちとこころの支援センター専門相談員等研修会 講義：「相談の基本と希死念慮を訴える方の話の聞き方について」 講師：カウンセリングオフィス VISION 院長 名和 淳 氏 意見交換：「電話相談で対応に困るケースについて」	22人

#### イ 支援者研修会

医療、保健、福祉関係機関の職員が、自殺未遂等のハイリスク者への支援において、適切な対応を理解し実践できることを目的に、研修会を開催した。

#### 令和6年度自殺ハイリスク者支援研修会

月日	方法	内容	参加者数
令和6年 10月15日	オンライン	講義：「自殺のポストベンション～組織での危機対応及び支援者支援を中心に～」 講師：東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 心理学教室 准教授 勝又 陽太郎 氏	131人

### (2) ポストベンション

#### ア 自死遺族支援

自助グループである自死遺族語り合いの会が円滑に運営できるよう支援した。

○自死遺族語り合いの会「虹の会」への支援（会場提供、運営の補助） 【例 会】年6回：偶数月第1木曜日開催 【会 場】精神保健福祉センター 【参加者】延べ35人
--

#### イ ポストベンション

自殺者や未遂者の発生した事業所等団体や関係機関に対して、場のケアやその後の対策への助言等支援を行い、精神的不調者や再発のリスク軽減を図る。

○市町村への支援 2回 延べ15人
-------------------

### (3) 技術支援

#### ア 市町村・関係機関等への支援

自殺予防対策を実施する市町村・関係機関に対して、技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
障 害 福 祉 課	自殺対策担当者会議	情 報 提 供	54 人
新 潟 県 立 大 学	こころの健康に関する講義	講 師	86 人
津 南 町	津南町ゲートキーパー研修会	助 言	35 人
計	3回		175 人

#### イ 保健所への支援

自殺予防対策を実施する保健所に対して技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
三 条 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 環 境 部	県央地域自殺対策連携会議	情 報 提 供	16 人
柏 崎 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 部	高校生のメンタルヘルス支援会議	情 報 提 供	22 人
魚 沼 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 部	自殺未遂者等自殺ハイリスク者支援研修会	助 言	13 人
計	3回		51 人

### (4) 普及啓発

- ・自殺の現状や自殺予防に関する情報をホームページに掲載。
- ・県こころの相談ダイヤルのリーフレット・カード等の配布による相談窓口の周知。
- ・メンタルヘルス、ゲートキーパー等の自殺予防に関連するリーフレットを関係機関に配布。
- ・自死遺族語り合いの会「虹の会」の普及啓発への協力。

## 11 思春期精神保健相談事業

### (1) 来所相談(再掲)

適応障害や精神疾患等の思春期の心の問題の解決を図るため、思春期青年期精神保健福祉相談会(ケース検討への助言含む)を年3回開催し、専門的診断・指導を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	3	3
女	2	2
計	5	5

#### イ 性別・年齢別実件数

	～14	15～19	20～	計
男	0	1	2	3
女	0	1	1	2
計	0	2	3	5

#### ウ 診断名別実件数

診断名	件数	診断名	件数
統合失調症	0	摂食障害	0
発達障害	1	パーソナリティ障害	0
社会不安障害	0	無し	0
場面緘黙	0	不明その他	4
		計	5

#### エ 支援別実件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	1
相談継続	1
助言指導	3
計	5

## 12 ひきこもり地域支援センター事業

平成25年4月に県ひきこもり地域支援センターが設置され、ひきこもり相談ダイヤルへの対応等専門相談、関係職員等への研修、普及啓発、市町村等への技術支援を行った。

### (1) 相談支援

ひきこもり相談ダイヤルを設置し、ひきこもりで悩んでいるご本人やご家族からの電話相談に対し、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 相談件数

相談者	実件数				延件数			
	当事者	家族	その他	計	当事者	家族	その他	計
電話相談	14	25	5	44	18	39	5	62
来所相談	2	10	0	12	2	14	0	16
計	16	35	5	56	20	53	5	78

#### イ 性別・年齢（実件数）

	10代	20代	30代	40代	50代 ～	不明	計
男	3	8	10	10	1	3	35
女	2	5	4	2	0	6	19
不明	0	0	0	0	0	2	2
計	5	13	14	12	1	11	56

### (2) 家族支援

#### ア ひきこもり家族交流会

月日（会場）	内容	参加者数
令和6年 7月4日 (精神保健福祉 センター)	○語り合い「家族が元気であるために」 ファシリテーター：公認心理師/スクールカウンセラー 山崎 里美	3人
令和6年 11月7日 (精神保健福祉 センター)	○語り合い「家族が元気であるために」 ファシリテーター：公認心理師/スクールカウンセラー 山崎 里美	4人

### (3) 当事者支援（「居場所」運営支援）

居場所運営の活性化及び居場所を利用する方の活躍かつ交流機会の拡大を目的として、居場所設置団体の交流会及び居場所を利用する方の作品展示を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
令和6年 12月19日 （ミライエ 長岡）	<b>【交流会】「居場所」のことを語ろう 2024 in ミライエ長岡</b> ○居場所からの活動報告（7か所） 進行役：NPO 法人新潟ねっと 代表 村山 賢 ○フリートーク、ひきこもり家族支援 VR 体験 ○全体共有・意見交換 助言者：長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子  <b>【作品展示】「シエスタ」展</b> ○居場所を利用する方の作品展示（43 作品） ＊12月18日から19日	45 人

### (4) ひきこもり支援従事者研修会

ひきこもりに関する基礎知識及び技術について学び、支援技術の向上を図るため、市町村、保健所等関係機関の職員に対して研修を行った。

月日（会場）	内 容	参加者数
令和6年 9月5日 （アオーレ 長岡）	○説明 小冊子「ひきこもりの理解のために」の活用について 説明者：新潟県精神保健福祉センター 主査 山元 奈々江  ○体験発表 「ひきこもりの経験と家族への思い」 発表者：ひきこもり経験者  ○てい談「親としての思い」 聴き手：長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子 話し手：ひきこもり状態の方の御家族  ○講義・グループワーク 「支援は家族から～家族の変化が本人の変化に～」 講師：長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子	87 人

※ひきこもりサポーター養成研修を兼ねて開催

### (5) 技術支援

要請機関	内 容	役 割	参加者数
新発田市社会福祉協議会・ 新発田市	若者支援のための関係機関・団体情報交換会	情報提供	24 人
柏崎市	ひきこもり支援事例研究会	技術支援	21 人
新潟県社会福祉協議会	”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協 担当職員による緩やかなネットワーク会議	技術支援	14 人
計	3回		59 人

## 13 災害後の精神保健福祉対策

### (1) 災害後のこころのケアの対応

自然災害や大規模な事件・事故等の発生によるこころのケアについて、要請に応じて必要な対応を行う。

### (2) DPAT（災害派遣精神医療チーム）に関する活動

大規模な自然災害・事故等が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により、新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。

このような状況に対応するため、本県におけるDPATの体制整備及び災害対応力の向上に向けた取組に参画した。

#### 【県が実施する研修への参画】

月 日	内 容	参加者数
令和6年 5月13日	新潟DPAT研修打合せ	9人
9月24日		8人
10月17日		11人
令和6年 11月2日	新潟DPAT研修会	65人

## 14 障害者総合支援法関連事業

### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業

#### ア 研修会の開催

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の実現のために、保健・医療・福祉関係者が自治体等と連携して支援体制を構築していくことが必要であり、精神科病院、障害者地域生活支援センター、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、市町村、保健所等に対して研修を行った。

#### (ア) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）

月日（会場）	内 容	参加者数
<講義> 令和7年 2月3日～14日 （オンデマンド 配信）	令和6年度厚生労働科学研究作成の「精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材（動画）」  ○科目1 「精神保健福祉の理念」（60分） ○科目2 「精神保健医療福祉の現状及び課題」（60分） ○科目5 「精神疾患の基礎知識」（120分）	74人 （申込数）
<演習> 令和7年 2月26日 （自治会館別館）	○「障害特性の理解と精神保健福祉相談の実際」 講師：新潟医療福祉大学心理・福祉学部 社会福祉学科 講師 渡邊 恵司  ○「当事者及び家族主体の相談支援」 講師：一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 当事者 家族	59人

※本研修会は、精神障害者支援体制加算の対象研修として実施した。

#### (イ) 自治体職員のための精神保健や相談支援に関する基礎研修会

月日（会場）	内 容	参加者数
<講義> 令和7年 2月3日～14日 （オンデマンド 配信）	令和6年度厚生労働科学研究作成の「精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材（動画）」  ○科目1 「精神保健福祉の理念」（60分） ○科目2 「精神保健医療福祉の現状及び課題」（60分） ○科目3 「精神保健医療福祉に関する法律」（60分） ○科目4 「精神保健福祉相談員の役割」（120分）	9人 （申込数）
<演習> 令和7年 2月26日 （自治会館本館）	○「障害特性の理解と精神保健福祉相談の実際」 講師：新潟医療福祉大学心理・福祉学部 社会福祉学科 講師 渡邊 恵司  ○「当事者及び家族主体の相談支援」 講師：一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 当事者 家族	5人

**(ウ) 精神保健福祉相談員講習会**

月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>&lt;講義&gt; 令和7年 2月3日～21日 (オンデマンド 配信)</p>	<p>令和6年度厚生労働科学研究作成の「精神保健福祉相談員講習会 e-learning 教材 (動画)」</p> <p>○科目1「精神保健福祉の理念」(60分) ○科目2「精神保健医療福祉の現状及び課題」(60分) ○科目3「精神保健医療福祉に関する法律」(60分) ○科目4「精神保健福祉相談員の役割」(120分) ○科目5「精神疾患の基礎知識」(120分) ○科目6「精神保健福祉の相談支援」(240分) ○科目7「精神保健医療福祉に関する制度とサービス」(180分)</p>	27人 (申込数)
<p>&lt;演習&gt; 令和7年 2月26日 (自治会館別館)</p>	<p>○「当事者及び家族主体の相談支援」 講師：一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 当事者 家族</p>	24人
<p>&lt;演習&gt; 令和7年 3月7日 (燕三条地場産業 振興センター リサーチコア 6階 研修室)</p>	<p>○「精神保健福祉の相談支援事例」 講師：埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 広域アドバイザー 広沢 昇 事例提供者：新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 地域保健課課長代理 細野 純子 燕市社会福祉課 主任 西川 典芳</p> <p>○「受講の振り返り」 助言者：埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 広域アドバイザー 広沢 昇 新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 地域保健課課長代理 細野 純子 燕市社会福祉課 主任 西川 典芳</p>	23人

**(エ) 措置入院の運用及び退院後支援に関する研修会**

月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>令和6年 11月27日 (オンライン)</p>	<p>○説明「措置入院者等の退院後支援マニュアルについて」 ○事例報告「措置入院患者に対する支援について」 事例報告者：柏崎厚生病院 精神保健福祉士 中田 みのり 上越地域振興局健康福祉環境部地域保健課 主任 横関 貴宏</p> <p>○意見交換「措置入院患者に対する支援について」</p>	22人

**イ ピアサポート活動の推進**

県内関係者にピアサポート活動の普及を行うため、精神障害者ピアサポート事業を委託している関係者を対象とした交流会を開催した。また、新潟県障害者ピアサポート研修の開催に協力した。

### (ア) 精神障害者ピアサポートに関する交流会

月日(会場)	内 容	参加者数
令和7年 2月25日 (燕三条地場産業 振興センター)	○報告「精神障害者ピアサポート活動に関するヒアリング結果について」 ○意見交換「日頃の活動において疑問に感じること」等 助言者：聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科 教授 相川 章子 一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ 茨内地域生活支援センター 施設長 中村 千里	41人

### (イ) 新潟県障害者ピアサポート研修への協力

内 容	参加者数
障害者ピアサポート研修に係る打ち合わせ(6回)、振り返り(1回)	延べ67人
新潟県障害者ピアサポート基礎研修(1日間)	39人
新潟県障害者ピアサポート専門研修(1日間)	41人

### ウ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業担当者連絡会議の開催

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業に関する情報交換と、障害保健福祉圏域単位の支援体制の構築に向けて具体的内容の検討を目的に担当者連絡会議を開催した。

月日(会場)	内 容	参加者数
令和6年 6月3日 (演習は当所 その他はオン ライン併用)	【第一部】 ・情報提供「精神保健福祉の動向と改正精神保健福祉法について」 ・事業説明「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築について」 【第二部】 ・ミニ講義「地域診断とは」 ・演習「地域診断の見直しと優先する課題の選定」	第一部 17人 第二部 20人
令和7年 2月10日 (当所)	【議題】 ・報告「令和6年度新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会について」 ・検討「精神障害者ピアサポート活動に関するヒアリング結果について」 ・検討「市町村における協議の場の設置状況調査の市町村からの要望事項について」 ・検討「令和7年度事業方針について」	12人

### エ 障害者地域生活支援体制整備事業

障害者及び障害児の地域生活を支援するため、県の拠点相談機関が専門アドバイザーを派遣し、地域における重層的な相談支援体制を広域的かつ専門的に支援するとともに、各障害保健福祉圏域及び県全域における相談支援体制に関する協議等を行い、もって障害者等の福祉の増進を図る。

### 専門アドバイザー派遣（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築）

専門アドバイザーを派遣し、地域で対応困難な事例に係る助言、地域のネットワーク構築に向けた指導、調整等を行うことにより、地域における相談支援の充実・強化を図った。

要請機関	内 容	専門アドバイザー	回数
長岡地域振興局 健康福祉環境部	広域的課題等の解決	1人（福祉）	3回
上越地域振興局 健康福祉環境部	困難事例に係る助言	1人（福祉）	6回

### オ 市町村及び障害保健福祉圏域における取組への支援

市町村及び障害保健福祉圏域における「協議の場」への出席等にて、地域における相談支援体制の整備を図った。

圏 域	内 容	役割	参加者数
下越圏域	新発田市精神障がい者を支える人たちのフリートーク会（1回）	技術支援	12人
新潟圏域	ピアサポート事業に関する支援（5回）	技術支援	延べ39人
	南浜病院と地域機関の連絡会	技術支援	20人
	新潟圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（1回）	技術支援	21人
県央圏域	県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（2回）	情報提供	延べ64人
	田上町「にも包括」研修会	講 師	35人
	燕市障がい者自立支援協議会 つばめで暮らそう部会関連（5回）	情報提供 技術支援	延べ91人
中越圏域	中越圏域自立支援連絡調整会議 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会（1回）	情報提供	延べ45人
上越圏域	上越圏域障害者地域生活支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（2回）	情報提供	延べ35人

### カ 新潟県自立支援協議会関係会議等への出席

自立支援協議会関係会議の他、新潟県障害者地域生活支援体制整備事業にかかる打合せ等に、県の相談支援拠点機関として出席した。

会 議 名	参加者数
新潟県自立支援協議会（1回）	38人
新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	20人
新潟県自立支援協議会担当国会議（1回）	17人
新潟県障害者地域生活支援体制整備事業担当国会議	25人
基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点等に関する市町村等担当国会議	57人

## (2) 高次脳機能障害相談支援センター事業

### ア 相談支援実績（再掲）

相談支援件数 559 件（延べ件数） 相談支援者数 62 人（実人数）

直接相談（延べ件数）				間接相談（延べ件数）				計	ケース会議（協力）	
電話	来所	メール・書簡	その他（出張・同行）	電話	来所	メール・書簡	その他（出張・同行）		開催数	参加者数
202	45	10	0	110	4	188	0	559	3	9

※直接相談は当事者・家族からの相談、間接相談は関係機関（行政・医療・福祉等）からの相談とする。

### イ 普及啓発

リーフレット等の配布やホームページによる情報発信

### ウ 医療・保健・福祉関係職員研修の開催

医療保健福祉関係者の知識、支援技術の向上を図るために研修会を実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
令和7年2月8日 （オンライン） 及び 令和7年 2月25日～3月25日 （オンデマンド配信）	○講義「高次脳機能障害者の移行医療について ～成人期における脳神経内科の立場から～」 講師：獨協医科大学瀧珠医療センター脳神経内科 准教授 赤岩 靖久 氏 同センター総合患者支援センター 医療ソーシャルワーカー副主任 清水 博人 氏 ○実践報告：「多職種連携による高次脳機能障害者の社会参加促進の実際」 報告者：新潟県障害者リハビリテーションセンター 所長 西片 寿仁 氏	当日 53名 オンデマンド 再生回数 252

### エ 技術支援

#### (ア) 圏域別支援従事者研修会への技術支援

二次保健医療圏において、高次脳機能障害支援に従事する関係者に対して、高次脳機能障害に関する基本的な知識及び支援手法等の普及を図り、関係者の資質向上を図るとともに、各圏域における支援ネットワークの構築に資するため、保健所主催で圏域別支援従事者研修会を実施している（7圏域）。

各圏域の状況に応じて、企画への助言や情報提供、事例検討の助言等の支援を行った。

圏域	内 容	役割	参加者数
新潟圏域	行政説明	情報提供	53 人
県央圏域	情報提供、事例検討の助言	情報提供 助 言	32 人
中越圏域	行政説明、事例検討の助言	情報提供 助 言	50 人

圏域	内 容	役割	参加者数
魚沼圏域	事例検討の助言	助 言	61 人
上越圏域	事例検討の助言	助 言	34 人

### (イ) 関係機関・団体への技術支援

関係機関からの依頼に応じ、助言等を行った。

月日 (会場)	内 容	参加者数
地域別多職種交流会 令和6年 12月18日 (高齢者センター みやうち)	主催：長岡市地域包括支援センターみやうち・やまこし ○講義 「高次脳機能障害の基礎知識」 長岡西病院 リハビリテーションセンター 安達 寿子 氏 ○事例紹介及びディスカッション ～雑談しながら高次脳機能障害についての視点を学ぼう～ ○グループワーク～講義や事例についての感想を話し合おう～	51 人

### オ 組織育成

家族会の育成のため、令和8年度開催予定の全国大会の開催・企画について視察等を協働で行った。

### カ 家族支援

高次脳機能障害者の家族が、障害についての理解を深め、負担感・孤独感の軽減と対応力の向上を図ることを目的に実施した。

### (ア) 家族教室

月 日	内 容	参加者数
<県央会場> 令和6年 7月18日	○講話：「高次脳機能障害についての基礎知識～主な症状とその対応～」 講師：社会福祉法人 嵐陽会 三之町病院 リハビリテーション科士長 言語聴覚士 永井 直子 氏 ○語り合い	6 人
<新潟会場> 令和6年 10月10日	○講話：「高次脳機能障害とともに生活するとはどういうこと？ ～障害理解と環境調整～」 講師：新潟県障害者リハビリテーションセンター 所長 西片 寿仁 氏 ○語り合い	18 人

## (イ) 家族のつどい

高次脳機能障害者の家族同士の語り合いを促し、高次脳機能障害に関する情報提供を行った。

圏域	会 場	期 間	役割	参加者数
全県	精神保健福祉センター	令和6年6月から令和7年2月 (全5回)	主 催	延べ52人
県央圏域	三条地域振興局健康福祉環境部	令和6年7月から11月(全2回)	共 催	延べ6人
中越圏域	長岡地域振興局健康福祉環境部	令和6年7月から令和7年3月 (全2回)	共 催	延べ4人
魚沼圏域	南魚沼地域振興局	令和6年9月4日	共 催	5人
上越圏域	上越地域振興局健康福祉環境部	令和6年6月から令和7年3月 (全4回)	共 催	延べ16人
佐渡圏域	佐渡総合病院	令和6年6月から12月(全2回)	共 催	延べ7人

## キ 本人支援

高次脳機能障害のある当事者同士の交流や情報交換を通じて、障害についての理解を深め、孤立感の解消やストレスの軽減を図ることを目的に実施した。

### 当事者のつどい

期 間	会 場	対 象	参加者	プログラム
令和6年 8月27日 12月17日	障害者リハビリ テーション センター	高次脳機 能障害の 当事者	延べ 30人	○語り合い、情報提供(2時間) 助言者： 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部 准教授 佐藤 卓也 長岡赤十字病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 上村 優里(長岡会場のみ)
令和6年 11月12日 令和7年 3月11日	長岡地域振興局			

## ク 支援体制整備の推進

### (ア) 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議の開催

高次脳機能障害相談支援地域拠点における相談支援の現状や課題について情報交換を行い、地域拠点機能の充実を図ることを目的に開催した。

月日(会場)	内 容	参加者数
令和7年2月18日 精神保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度県及び地域拠点の事業実績報告</li> <li>令和7年度県の事業計画について</li> <li>意見交換(高次脳機能障害支援の今後のあり方について)</li> </ul>	14人

### (イ) 高次脳機能障害支援拠点運営委員会の出席(主催:障害福祉課)

高次脳機能障害支援拠点の運営、県の支援の現状と課題、県の支援体制整備に関することを検討する高次脳機能障害支援拠点運営委員会に出席し、報告等を行った。(1回)

## 15 依存症対策

### (1) 回復支援

#### ア 依存症等精神保健福祉相談（再掲）

依存症は、当事者の否認や社会生活の破綻、家族との関係性などが回復の妨げとなり、相談対応には支援者の連携も必要であるため、精神科医（嘱託医）による専門相談を実施した。

4回4件（薬物、アルコール）

#### イ 精神保健福祉相談員等による依存症に関する相談（再掲）

##### (ア) 相談件数

	実件数	延べ件数
電話	63	92
来所	14	24
計	77	116

\*複数人で相談の場合も1件として計上

##### (イ) 依存対象別延べ件数

依存対象	件数
アルコール	46
薬物	26
ギャンブル等	36
ゲーム	5
その他	3
計	116

##### (ウ) 支援別延べ件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	9
助言指導	84
ケースワーク	21
その他	2
計	116

#### ウ 依存症地域回復支援プログラム

依存の問題がありつつも治療・回復プログラムや支援に繋がりにくい方を主な対象として、仲間や支援者と交流し、つながることや依存症について学ぶことを目的とするプログラム（居場所の運営による交流企画）の実施を支援した。

月日	会場	内容	参加者数
令和6年 7月16日	南魚沼市図書館 「多目的室」	・運営に従事	15人
令和6年 9月17日	オンライン	・中間振り返り	8人
令和7年 2月18日	オンライン	・今年度の振り返りと次年度計画の検討	8人

※南魚沼市と南魚沼地域振興局健康福祉環境部が主催、当所、さいがた医療センター、南魚沼市社会福祉協議会が共催。6回実施。参加者延べ20人（当事者、家族）。

### (2) 普及啓発

#### ア 家族支援

アルコール健康障害やその他の依存の問題を抱える方の家族や周囲の者が、相談や治療に繋がりがやすい環境整備を図ることを目的に、相談対応を行った。

また、地域の関係機関と依存症治療拠点が協力して実施することで、依存症支援のスキルアップを図るとともに、医療・保健・福祉の地域連携を強化した。

月日（会場）	内容	参加者数
令和6年12月17日 （南魚沼市役所大和庁舎）	「依存に関する困りごと 家族のための相談会」	4人 関係者9人

※南魚沼市と南魚沼地域振興局健康福祉環境部が共催。さいがた医療センターが協力。

## イ その他

- ・令和3年度に作成した県内の依存症支援機関一覧「つながるマップ」を、精神科医療機関や相談支援機関に配布した。
- ・適性飲酒に関するパネル及びチラシを、講演会等において展示及び配布を行うとともに、ホームページにて依存症に関する情報を発信した。

## (3) 研修

依存症の相談支援にあたる者の支援技術の向上を目的に研修会を開催した。

### 依存症相談対応研修（依存症医療研修・依存症地域生活支援研修を兼ねて実施）

月日（会場）	内 容	参加者数
令和6年 12月5日 （オンライン）	講義1「アルコール依存症の理解と対応」 講師：医療法人恵松会 河渡病院 院長 若穂 徹  講義2「消化器内科医が診る飲酒量低減療法 ～ナルメフェンの使用経験からの考察も含めて～」 講師：医療法人愛仁会 亀田第一病院 消化器内視鏡センター長 理事長補佐 渡邊 東  当事者からのメッセージ AA新潟グループメンバー	166人 (新潟市32人)

※新潟市こころの健康センターと共催。

## (4) 新潟県依存症連携会議への協力

関係機関・民間団体等と連携を強化し、依存症に関する情報や課題の共有等を目的に県と新潟市、新潟保護観察所と3者で主催し開催された。会議内容の企画、グループワークの運営等に協力した。  
(事前打合せ2回、振り返り1回)

月日	内 容	参加者数
令和6年 9月4日 （自治会館）	取組報告、連携の好事例の共有、「支援につながるきっかけづくり」についてグループでの意見交換等	39人

## (5) 関係機関・民間団体等への技術支援・業務協力

関係機関や民間団体が開催する会議や研修会等での情報提供等を通じて技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役割	参加者数
関 病 院	○つながるフォーラム打合せ（2回） ○つながるフォーラム	技術支援	延べ25人 100人
さいがた医療センター	○おふらいんキャンプ（ゲーム障害対象） 検討会（4回）	業務協力	延べ56人
はばたきネット	依存症関係機関・団体による定例会（3回）	情報提供	延べ62人

## 16 協 議 会 等

関係機関の主催する各種協議会等に参加し、連携・支援を行った。

主 催 者	会 議 等 の 名 称	出席者数 (延)
新潟県被害者支援連絡協議会	新潟県被害者支援連絡協議会定期総会	2人
新潟保護観察所	新潟県薬物事犯者等地域支援連絡協議会	3人
	新潟県心神喪失者等医療観察制度運営協議会	1人
国立病院機構西新潟中央病院 てんかん診療拠点地域医療支援センター	てんかん治療連携協議会（2回）	2人
障害福祉課・義務教育課	発達障害者支援体制整備検討委員会及び特別支援教育総合推進事業運営協議会	1人
県子ども家庭課	新潟県困難な問題を抱える女性及びDV被害者支援調整会議（2回）	2人
	新潟県要保護児童対策地域協議会	1人
県障害福祉課	新潟県精神保健福祉審議会	2人
	新潟県自殺予防対策推進県民会議（オンライン）	1人
	新潟県自殺対策計画策定委員会（2回）	3人
	新潟DPAT運営会議	2人
	精神保健指定医会議・精神科病院事務長・看護部長会議（オンライン）	4人
	新潟県措置入院制度連絡調整会議（オンライン）	3人
	新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会（オンライン）	3人
	新潟県自立支援協議会	1人
	新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	2人
	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	2人
新潟県アルコール健康障害計画策定委員会（参集1回・書面1回）	2人	
依存症対策全国センター	都道府県等依存症専門医療機関・相談員等合同全国会議	1人
DPAT事務局	災害精神保健医療担当者向け会議	4人
国立障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（オンライン2回）	4人
	高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議（オンライン2回）	4人
高次脳機能障害支援普及関東甲信越・東京ブロック合同会議	高次脳機能障害支援普及関東甲信越・東京ブロック合同会議（オンライン）	2人
関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会役員会（オンライン）	1人
	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	2人
全国精神保健福祉センター長会	全国精神保健福祉センター長会	1人
全国精神保健福祉センター研究協議会	第60回全国精神保健福祉センター研究協議会（参集・オンライン）	5人
全国精神医療審査会連絡協議会	全国精神医療審査会連絡協議会 総会	1人
	全国精神医療審査会長・精神保健福祉センター所長会議	1人

新潟県精神保健福祉センター

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-3  
ユニゾンプラザハート館

電 話 025 (280) 0111

F A X 025 (280) 0112